

「安倍晋三元首相のご冥福を祈る」

台北駐日経済文化代表処横浜分処 張淑玲処長



安倍晋三元首相が突然の不幸に見舞われて逝去された訃報に接し、日本の政界における偉大な政治家が、そして台湾にとって大切な友人が亡くなったことに、蔡英文総統をはじめ、行政院の蘇貞昌院長(首相に相当)や、外交部の吳釗燮部長(外相)ら閣僚は、深い哀悼の意を表しました。台湾では11日、政府機関や

特別寄稿

学校などで半旗を掲げ、甲意が示された。蔡総統は安倍元首相の死を悼み、日本台湾交流協会台北事務所を訪れ弔問記帳を行った。また、賴清徳副総統も追悼で来日し、国民を代表し心からの哀悼の意を表しています。

奈良市内で8日に行った演説中に暴漢の襲撃を受けて逝去した安倍元首相は、これまで安倍元首相は、台湾のことで

を「日本と同じ価値観を持つ重要な友人だ」と公の場でたびたび言及し、台湾海峡の平和の重要性を強調すること

で、私たちが支持する立場を力強く示されました。台湾に対する中国の軍事的脅威が顕著となる中、「台湾有事は日本有事」とも明確に述べ、日本と台湾が協力して危機に立ち向かうよう呼びかけたこともあり、国際社会全体が台湾海峡の平和と安定を重要視するようになった。

台湾への関与を続ける姿勢が愛されることではなく、一貫して台湾の良き友人でいてくれました。

われわれ台湾人は、こうして築かれた関係を礎に、さらに努力を重ねて台日関係をより強固で緊密なものとするよう努めていく所存です。

安倍元首相はかつて、台湾産のパイナップルを手にはじけるような笑顔を見せてくれました。この笑顔は、私たち台湾人の心に永遠に残るでしょう。安倍元首相の功績に感謝するとともに、安らかに眠りかたざるよう願うばかりです。